

公式試合の柔道着について

大阪中体連主催の公式試合では、平成31年度以降の本柔道専門部主催の公式試合柔道着を以下の通りと定めています。なお、近畿大会・全国大会に出場の際は、その大会規定に合わせていただきますようよろしくお願いいたします。

1. 本柔道専門部主催の公式試合柔道着 [夏季・秋季府大会 強化選手選考試合]

①新 IJF 規格認定道着(二重):シリアル番号入り IJF マーク赤枠(IJF 赤)
※赤・シリアル番号のみの柔道着も IJF 赤ロゴと同様とみなす。

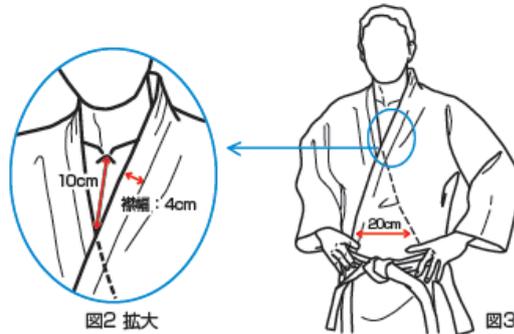
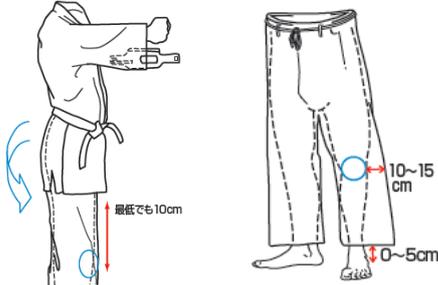
②稽古着(一重)

一重の稽古着(赤シリアル番号無し・IJF 赤ロゴ無し)は認める。

注):二重の稽古着(赤シリアル番号無し・IJF 赤ロゴ無し)は認められない。

2. コントロール面について

図1



3. IJF 赤ロゴ・赤シリアル番号について



赤○ 青×

黒× 赤○



4. その他

- (1) 従来の基準[袖丈:手首から5cm 裾丈:足首から5cm 女子 Tシャツ:白・丸首・ワンポイント可 等]とする。帯については、規定しないが長さは結び目から両端まで20~30cm程度とする。
- (2) 柔道着には必ずゼッケンを縫い付けて出場すること。
ゼッケンがない場合は、審判員が赤チョークで記名する。
- (3) 袖口を内側へ織り込んで縫い付けている状態や臀部を覆えない柔道着は認めない。
- (4) 柔道着及びゼッケンに企業や道場の刺繍・ロゴマークが入ったものは認めない。

今回の令和3年度秋季府大会では柔道着検査は実施しない。ただし、試合前(中)に審判員から違反の指摘があった場合、修正・交換ができない時は、「反則負け」とする(女子のTシャツも同様)。

※顧問は、相手選手の柔道着について質問があれば試合前に審判員に申し出ること。

※サポーター・マウスピース・スパッツは、装着した初戦の前に、審判員に申告してチェックを受けること。試合中に違反が発覚した場合は、「反則負け」とする。